

10/6 早3稿

政治家支援の継続 旧統一教会が明言

世界平和統一家庭連合（旧統一教会）の勅使河原秀行・教会改革推進本部長は四日、東京都渋谷区の教団本部で記者会見し、「同じような考え方の政治家を応援することはある。今は簡単ではないが、改革を推進し信頼を取り戻す」と述べ、政治家への支援継続の考えを示した。

各地の消費生活センターなどに、教団を巡る相談が近年も相次いでいることにについては、「(教団が相談を受け止めきれなかつた。心からおわび申し上げる」と陳謝した。
勅使河原氏は「これまで、二〇〇九年のコノカラライアンス順守宣言以降は「靈感

商法は「件もなればや」と主張していたが、今回は「減っている」とは間違ない」と説明を変えた上で、「宣言が一部で徹底されないなかつた。一度も起きないようにする」とした。

岸田文雄首相が三日、臨時国会の所信表明演説で、教団を名指して「悪質商法や悪質な寄付による被害者の救済に万全を尽くす」と決意を示した」とについてでは「そういうふうに言われないように、変わら努力を継続するしかない」と述べた。

教団は、献金額が収入の三割を超えた信者について、献金の経緯を記録し、経済状況を確認する方針を決定。献金收入の予算規模が以前と比べ半減するとじていた。